

奈良県における地域公共交通の現状と取組について

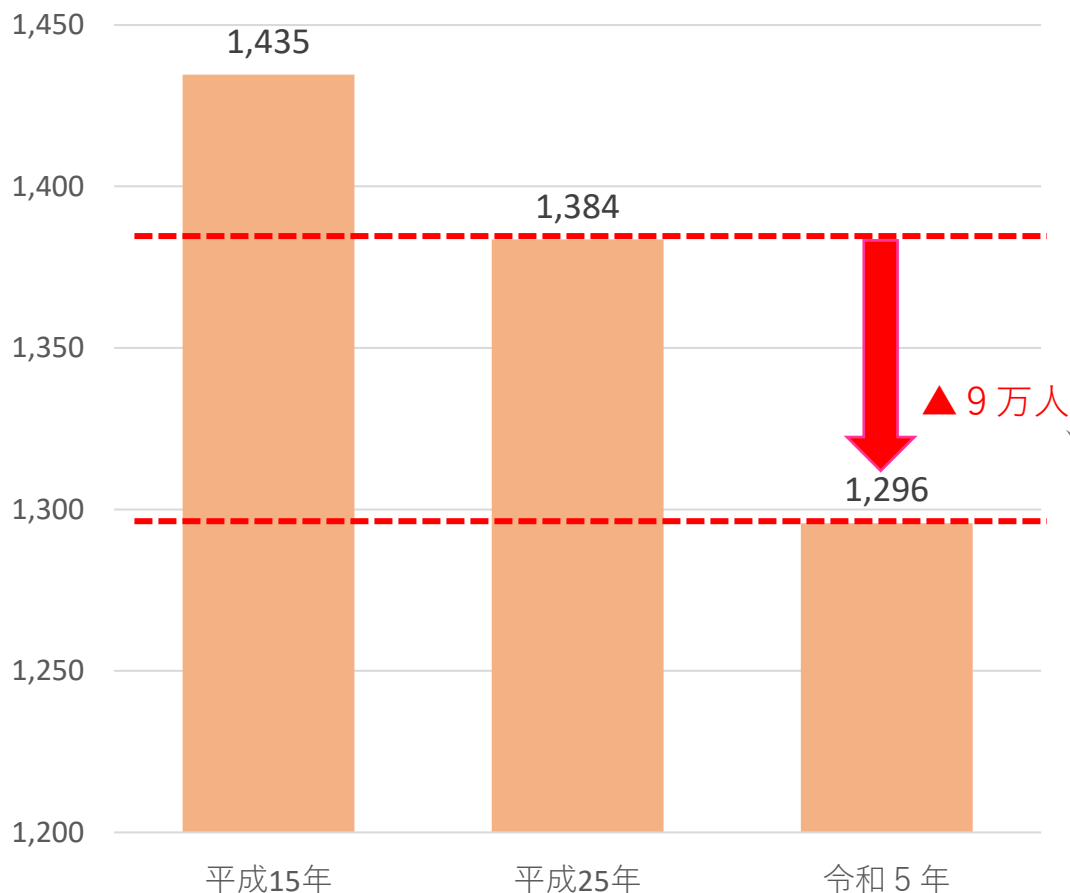
令和7年2月18日

奈良県における人口の推移

- 奈良県人口は、この**10年間でも約9万人減少**。南部東部だけでなく、北西部も人口減少が進み、人口減少を念頭においた交通のあり方を検討していく必要がある。

奈良県の人口推移

(単位：千人)



H25→R5の人口増減率

北西部地域：▲ 5 %

※ 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町

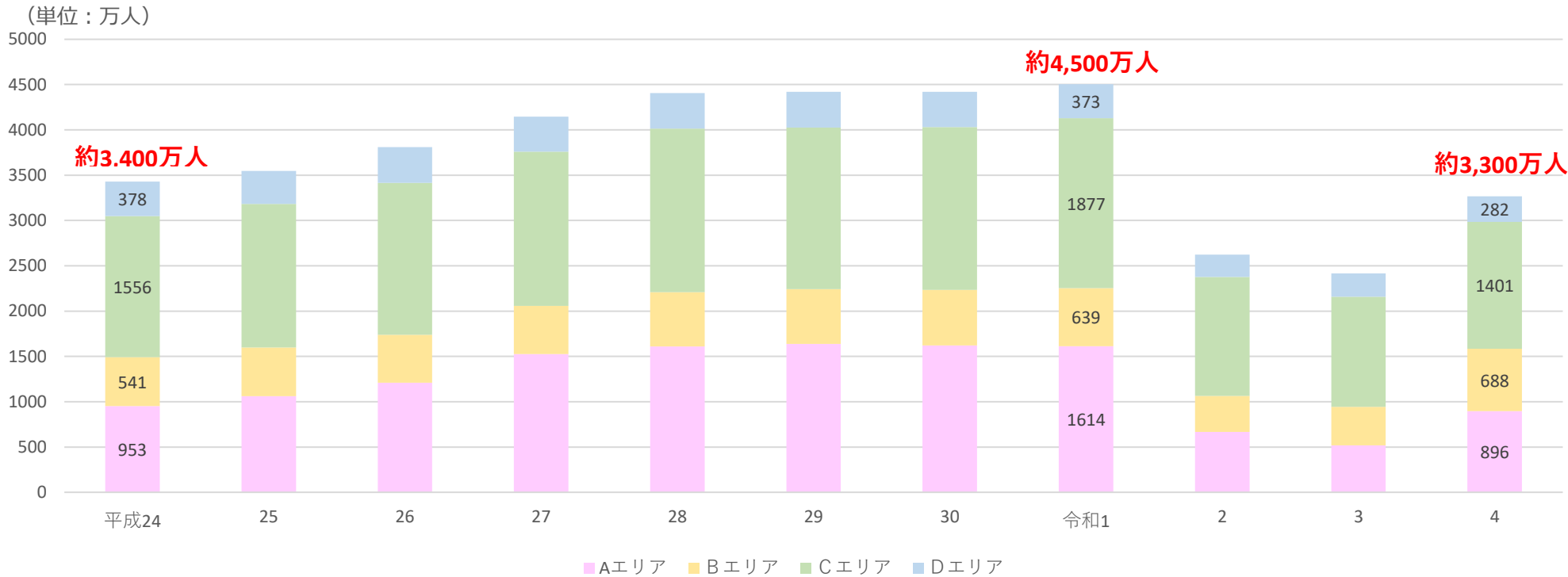
南部東部地域：▲ 20 %

※ 五條市、御所市、高取町、明日香村、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村、宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村

奈良県の観光客数の推移

● **奈良県の観光客数**は、コロナ禍で減少に転じたが、**回復・増加傾向**。インバウンド等の需要を着実に取り込み、地域交通も含めて県内消費（利用客）を増やす取組が重要。

奈良県の観光客数の推移



A（県北部）
奈良市、生駒市、山添村

B（県西部）
大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町

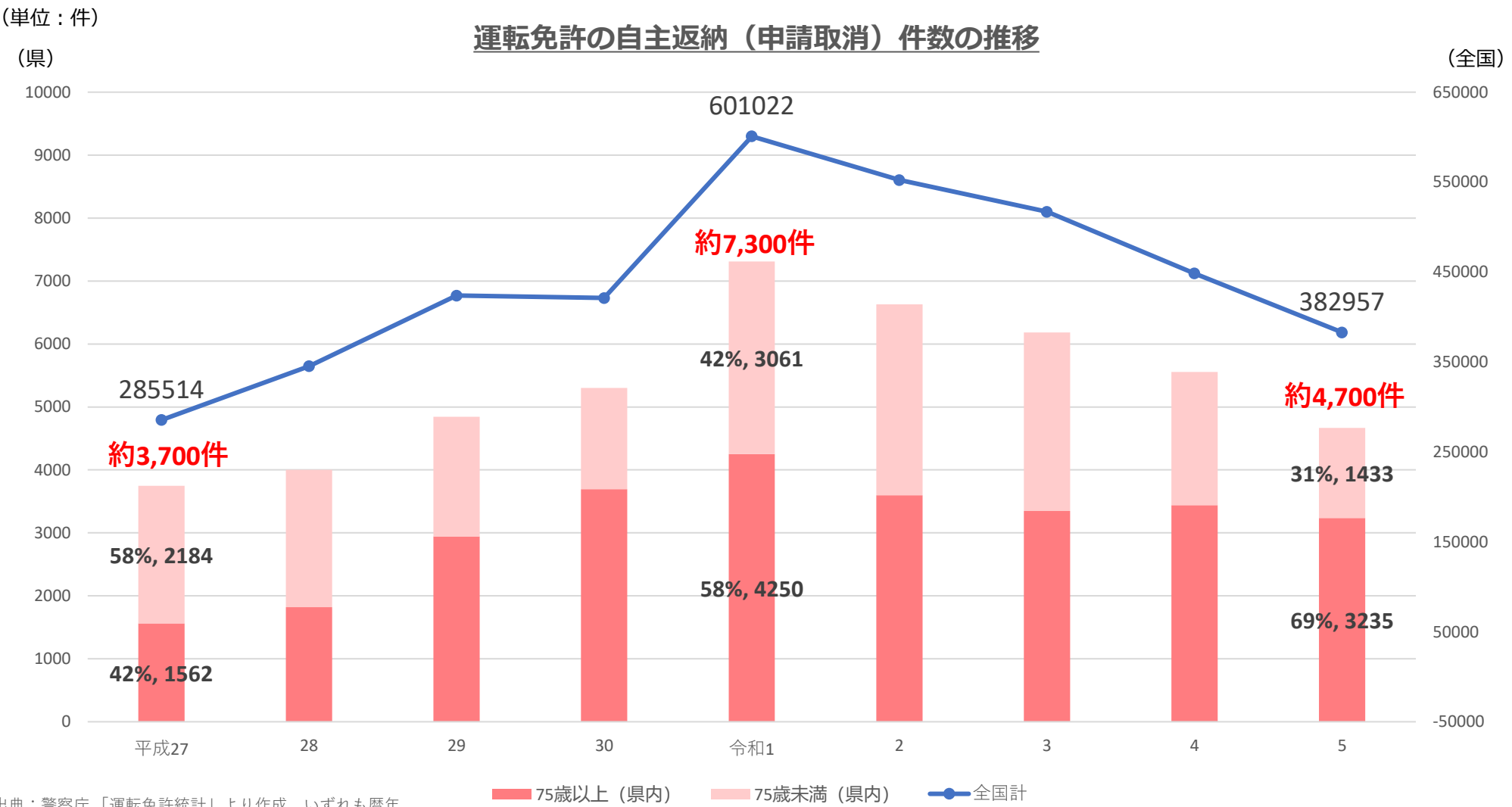
C（県東部）
天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村

D（県南部）
五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

出典：奈良県「観光客動態調査報告書」より作成。いずれも暦年

奈良県における運転免許の自主返納数の推移

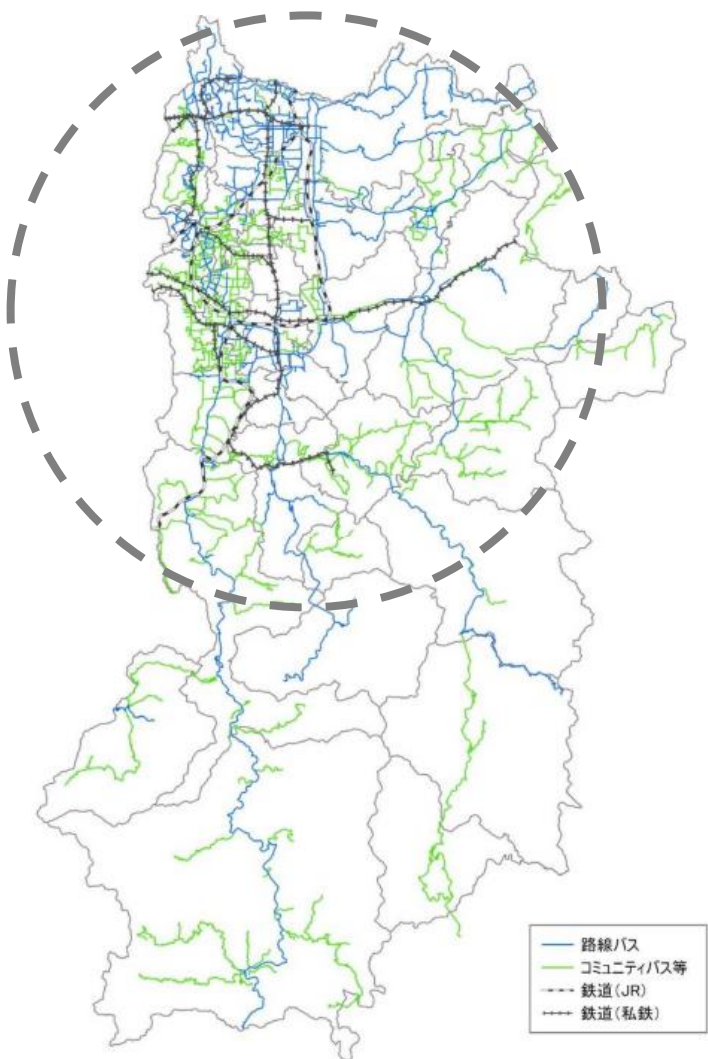
● **運転免許の自主返納数**については、コロナ禍での外出自粛の影響等もあって令和元年以降は減少傾向にあるが、**高齢化に伴い今後も一定の返納が見込まれ、地域交通にとって潜在的な需要がある。**



出典：警察庁「運転免許統計」より作成。いずれも暦年

奈良県の鉄道輸送

- 平野部を中心に、近鉄とＪＲ西日本が鉄道ネットワークを形成。輸送人員が減少する中、**路線区間ごとの輸送密度向上**が課題（駅（点）ではなく路線で、さらには路線だけでなく面的な沿線価値向上が鍵）。



▶過去20年間の輸送人員の推移（H13→R3）【人／年】

近 鉄 ： 3 割 減 （約1.6億人 → 約1.1億人）
⇨ 吉野線：▲43% ～ 京都線：▲23%

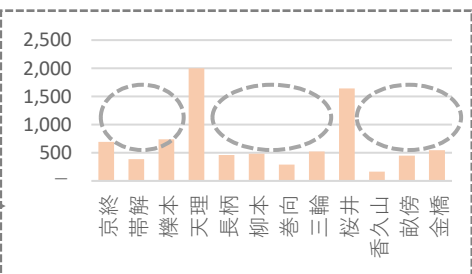
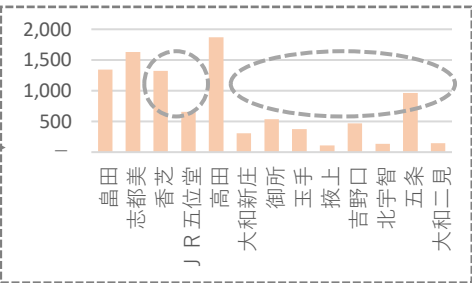
ＪＲ西 ： 3 割 減 （約3,800万人 → 約2,600万人）
⇨ 和歌山線：▲38% ～ 桜井線：▲26%

▶路線区間ごとの「輸送密度」(※)の例

※旅客営業キロ1kmあたりの1日平均旅客輸送人員

路線名	区間	輸送密度（人／日） 令和5年度
和歌山線	王寺～和歌山	4,024
	王寺～高田	8,875
	高田～五条	2,153
	五条～和歌山	3,811
桜井線	奈良～高田	4,628

【参考】区間別輸送人員（人／日）※令和3年度



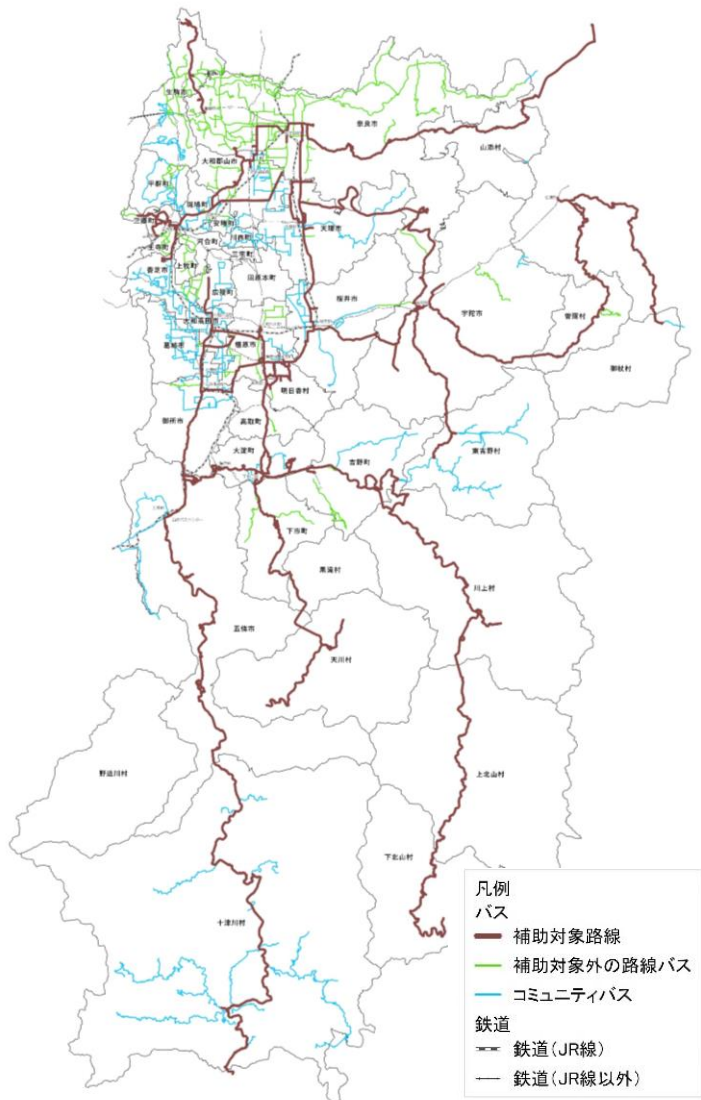
【参考】全国の鉄軌道路線の廃止状況（平成12年度～）

※令和6年4月1日現在

年度	事業者名	路線名	区間	営業 キロ	営業廃止 年月日	年度	事業者名	路線名	区間	営業 キロ	営業廃止 年月日
H12	西日本鉄道	北九州線	黒崎駅前～折尾	5.0	12.11.26	20	島原鉄道	島原鉄道線	島原外港～加津佐	35.3	20.4.1
13	のと鉄道	七尾線	穴水～輪島	20.4	13.4.1		三木鉄道	三木線	三木～厄神	6.6	20.4.1
	下北交通	大畑線	下北～大畑	18.0	13.4.1		名古屋鉄道	モンキーパークモノレール線	犬山遊園～動物園	1.2	20.12.27
	名古屋鉄道	揖斐線	黒野～本揖斐	5.6	13.10.1		高千穂鉄道	高千穂線	槇峰～高千穂	20.9	20.12.28
	〃	谷汲線	黒野～谷汲	11.2	13.10.1	21	北陸鉄道	石川線	鶴来～加賀一の宮	2.1	21.11.1
	〃	八百津線	明智～八百津	7.3	13.10.1	24	十和田観光電鉄	十和田観光電鉄線	十和田市～三沢	14.7	24.4.1
	〃	竹鼻線	江吉良～大須	6.7	13.10.1		長野電鉄	屋代線	屋代～須坂	24.4	24.4.1
14	長野電鉄	河東線	信州中野～木島	12.9	14.4.1	26	JR東日本	岩泉線	茂市～岩泉	38.4	26.4.1
	南海電気鉄道	和歌山港線	和歌山港～水軒	2.6	14.5.26		JR北海道	江差線	木古内～江差	42.1	26.5.12
	京福電気鉄道	永平寺線	東古市～永平寺	6.2	14.10.21	27	阪堺電気軌道	上町線	住吉～住吉公園	0.2	28.1.31
	南部縦貫鉄道	南部縦貫鉄道線	野辺地～七戸	20.9	14.8.1	28	JR北海道	留萌線	留萌～増毛	16.7	28.12.5
	有田鉄道	有田鉄道線	藤並～金屋口	5.6	15.1.1	30	JR西日本	三江線	江津～三次	108.1	30.4.1
15	JR西日本	可部線	可部～三段峡	46.2	15.12.1	R1	JR北海道	石勝線	新夕張～夕張	16.1	31.4.1
16	名古屋鉄道	三河線	碧南～吉良吉田	16.4	16.4.1	2	JR東日本	大船渡線	気仙沼～盛	43.7	2.4.1
	〃	〃	猿投～西中金	8.6	16.4.1		〃	気仙沼線	柳津～気仙沼	55.3	2.4.1
17	〃	揖斐線	忠節～黒野	12.7	17.4.1		JR北海道	札沼線	北海道医療大学～新十津川	47.6	2.5.7
	〃	岐阜市内線	岐阜駅前～忠節	3.7	17.4.1	3	〃	日高線	鶴川～様似	116.0	3.4.1
	〃	美濃町線	徹明町～関	18.8	17.4.1	5	〃	留萌線	石狩沼田～留萌	35.7	5.4.1
	〃	田神線	田神～競輪場前	1.4	17.4.1	6	〃	根室線	富良野～新得	81.7	6.4.1
	日立電鉄	日立電鉄線	常北太田～鮎川	18.1	17.4.1						
	のと鉄道	能登線	穴水～蛸島	61.0	17.4.1						
18	北海道ちほく高原鉄道	ふるさと銀河線	池田～北見	140.0	18.4.21						
	桃花台新交通	桃花台線	小牧～桃花台東	7.4	18.10.1						
	神岡鉄道	神岡線	猪谷～奥飛騨温泉口	19.9	18.12.1						
19	くりはら田園鉄道	くりはら田園鉄道線	石越～細倉マインパーク前	25.7	19.4.1						
	鹿島鉄道	鹿島鉄道線	石岡～鉾田	27.2	19.4.1						
	西日本鉄道	宮地岳線	西鉄新宮～津屋崎	9.9	19.4.1						
	高千穂鉄道	高千穂線	延岡～槇峰	29.1	19.9.6						

奈良県のバス輸送

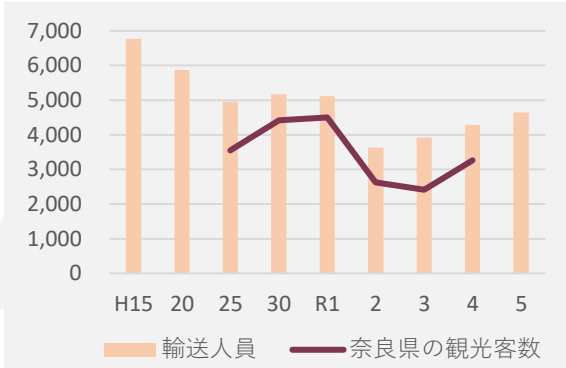
- 奈良県では、鉄道駅等に接続する形で、平野部だけでなく山間部も含めて、広域的にバスのネットワークが形成。限られた事業者数の中で多くの路線を維持。



▶奈良県の乗合バス輸送人員は減少

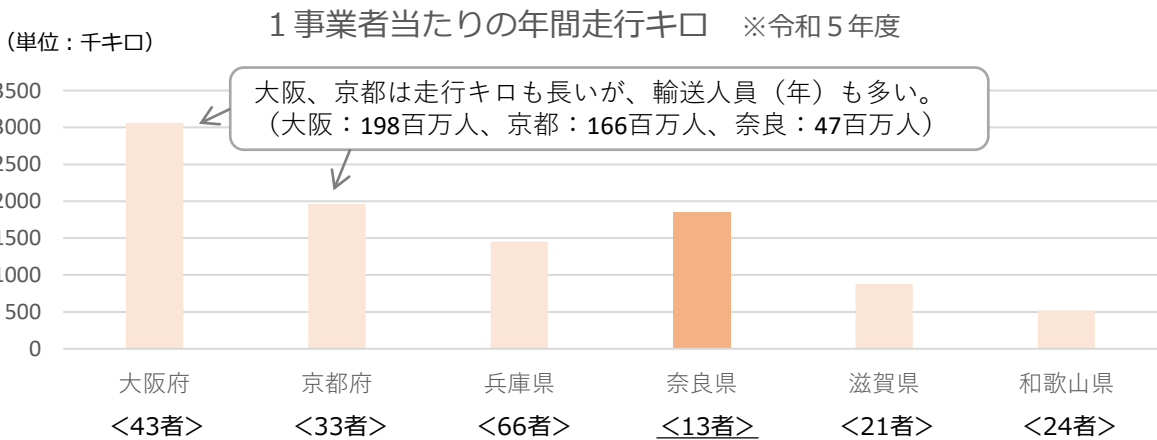
ピーク時から **5割減**
約**9,400万人** (H2)
約**4,600万人** (R5)

ただし、直近では観光需要等に連動して輸送人員が増加する年も



出典) 国土交通省「自動車輸送統計」(年度) 及び奈良県「観光客動態調査報告書」(暦年)。

▶奈良県は面積が広い(走行キロは長い)が事業者は多くない



【参考】他自治体におけるバス路線の廃止事例

●大阪の金剛自動車株式会社のバス事業廃止

- ・ 運転者不足が要因となり、運行していた15路線を廃止（路線バス事業を廃止）
- ・ 廃止後は、4市町村（富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村）が代替交通としてコミュニティバスを運行

（廃止された15路線）

▶バス事業廃止までの経過（申入れから約7ヶ月で廃止）

- 令和4年11月 平日も土日祝ダイヤでの運行を開始
5年2月 土日祝ダイヤからさらに減便
5年5月 市町村、近畿運輸局、大阪府にバス事業廃止の意向を伝える
5年6月 4市町村から財政支援も含めた形での路線維持、事業継続要請
5年9月 4市町村に対し、令和5年12月20日に廃止する旨を通知
5年11月 4市町村の地域公共交通活性化協議会での議論を経て、バス事業廃止について承認
5年12月 金剛自動車株式会社がバス事業を廃止
4市町村でコミュニティバスの運行を開始

＜コミュニティバスの運行状況＞

- 金剛バス15路線中4路線を廃止し、11路線でコミュニティバスを運行

※運行主体内訳

- ・ 4市町村協議会9路線
- ・ 太子町2路線

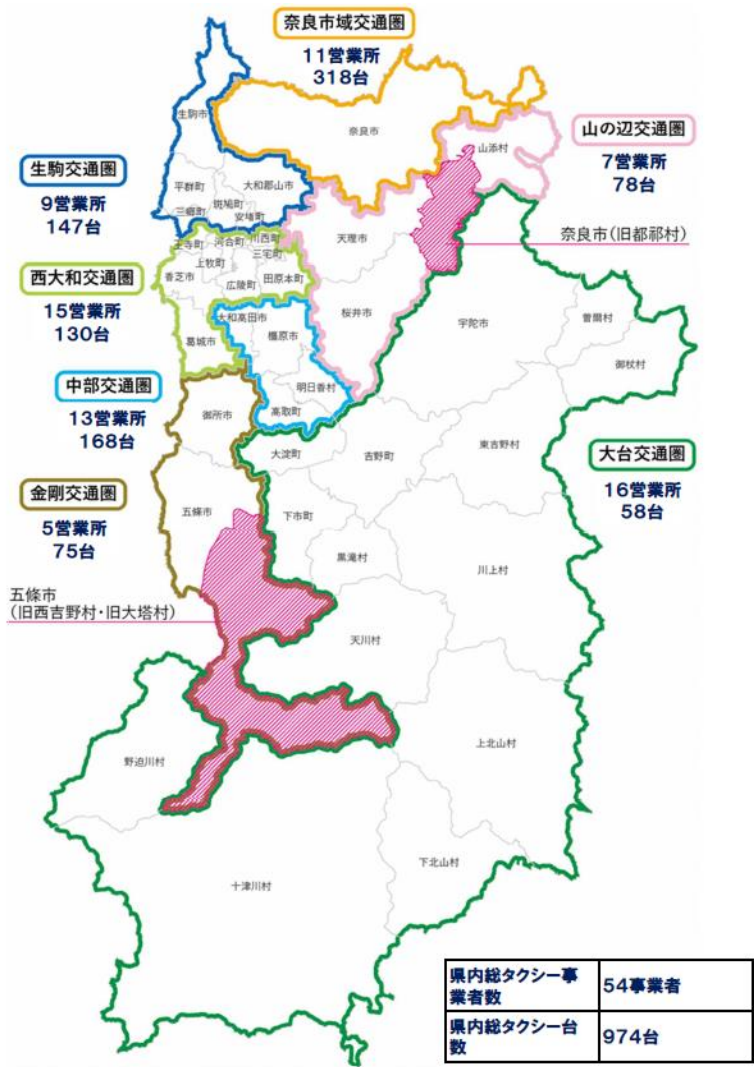


出典）富田林市HP

※富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村
地域公共交通活性化協議会資料より引用

奈良県のタクシー輸送

- 道路運送法に基づき奈良県では営業エリアが7つ設定されている。ドライバー確保に当たっては、近隣府県とも競合するため、**労働条件の改善が課題であるが、奈良県内は厳しい状況。**



令和6年4月末時点(個人事業者除く)

▶過去20年間の輸送人員の推移（H15→R5）【人／年】

5 割減 （約1,004万人 → 約480万人）

出典）国土交通省近畿運輸局奈良運輸支局提供データ。いずれも年度

▶タクシードライバー等の推定年収（万円） ※いずれも令和4年度

奈良県タクシードライバー ： 約268万円

大阪府タクシードライバー ： 約437万円

奈良県労働者 ： 約484万円

大阪府労働者 ： 約524万円

出典）厚生労働省「賃金構造基本統計調査」による。
毎年6月の所定内給与と割増賃金を足して12倍し、同じ年の一時金・賞与を足した額。

▶全国的にもタクシー事業者は中小の事業者が多い

車両規模別事業者数（法人のみ／令和4年度末）

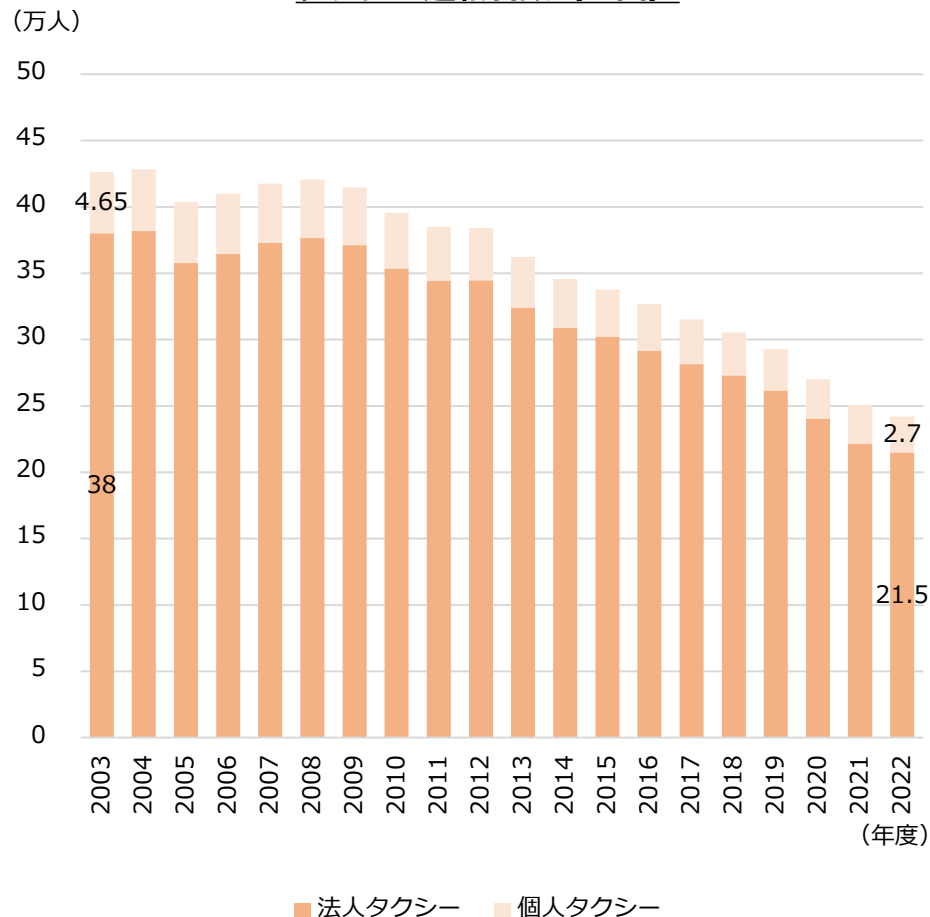


出典）国土交通省調べ

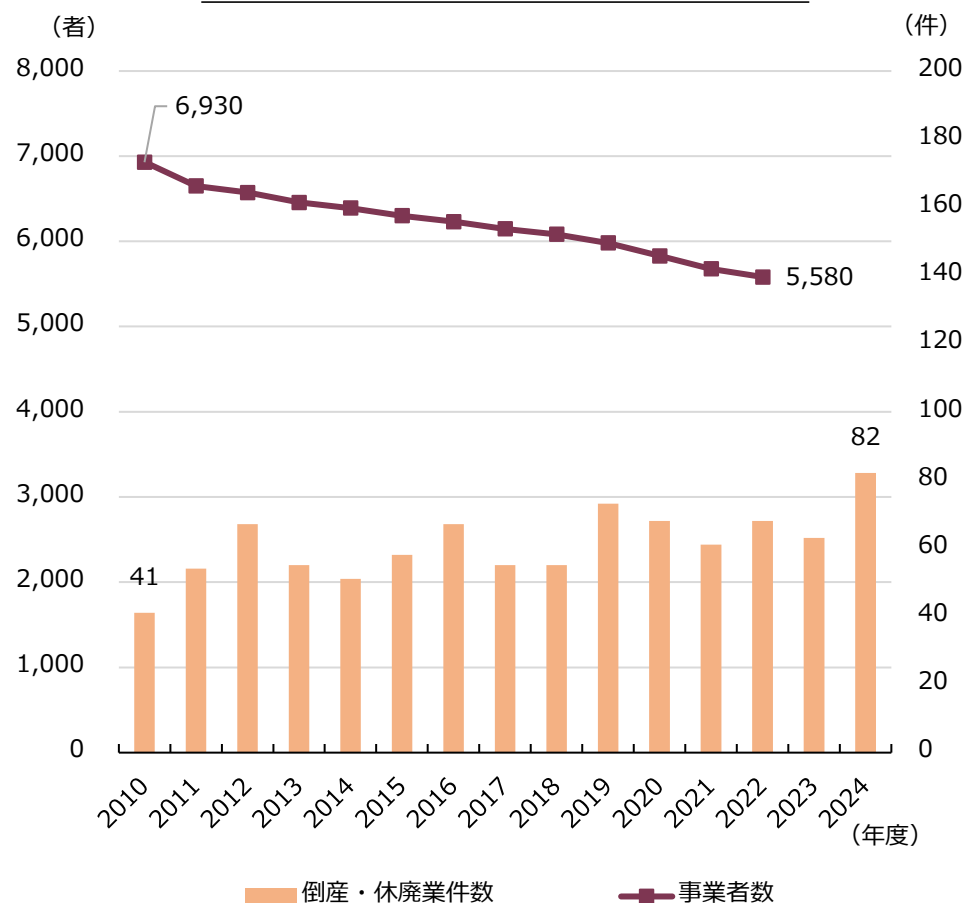
【参考】全国のタクシー事業者の倒産等の状況

- 平成15年（2003年）から令和4年（2022年）までに、**全国のタクシー運転者数は半減**。また、**タクシー事業者の倒産件数が増加傾向**。

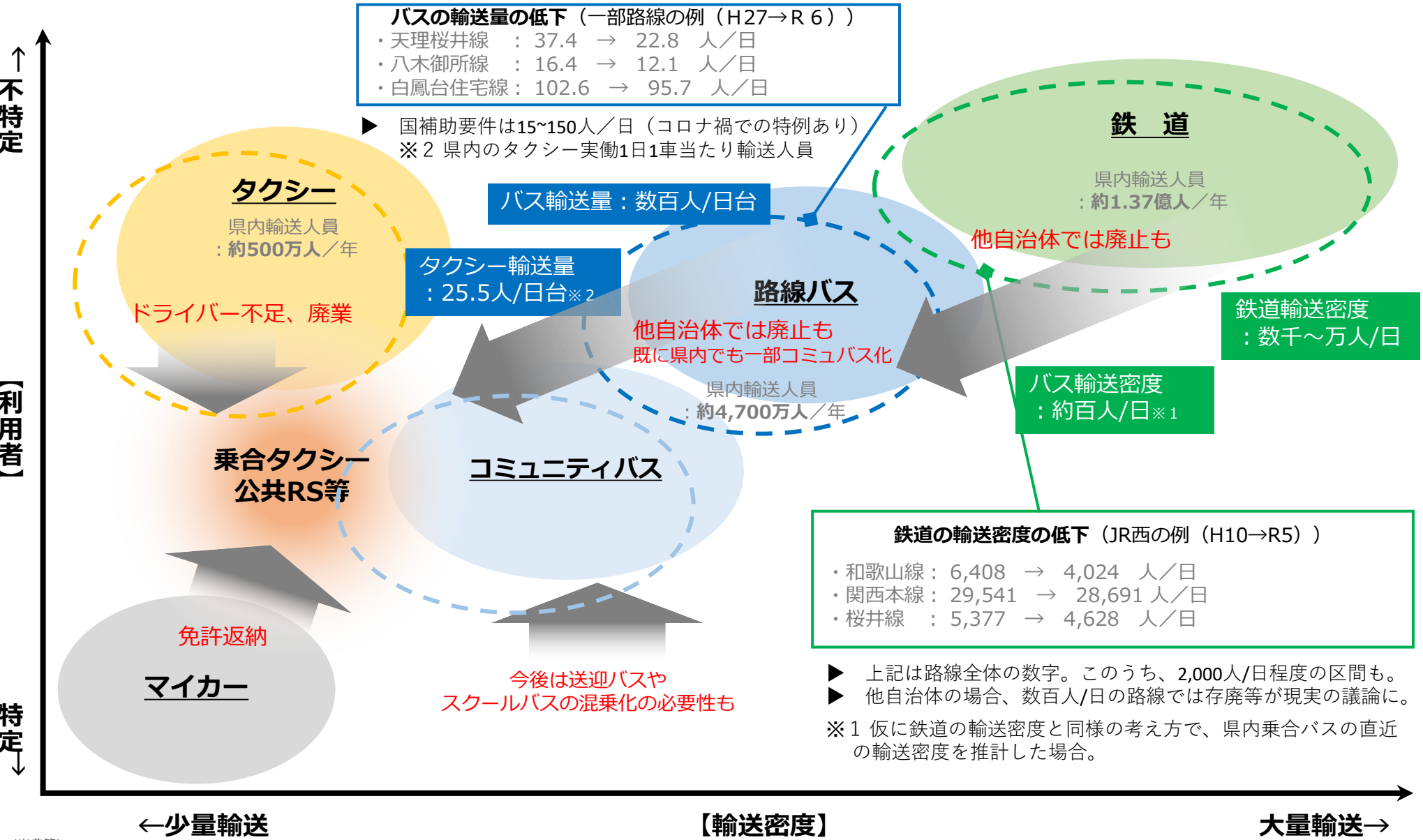
タクシー運転者数（全国）



タクシー事業者数・倒産等の件数（全国）



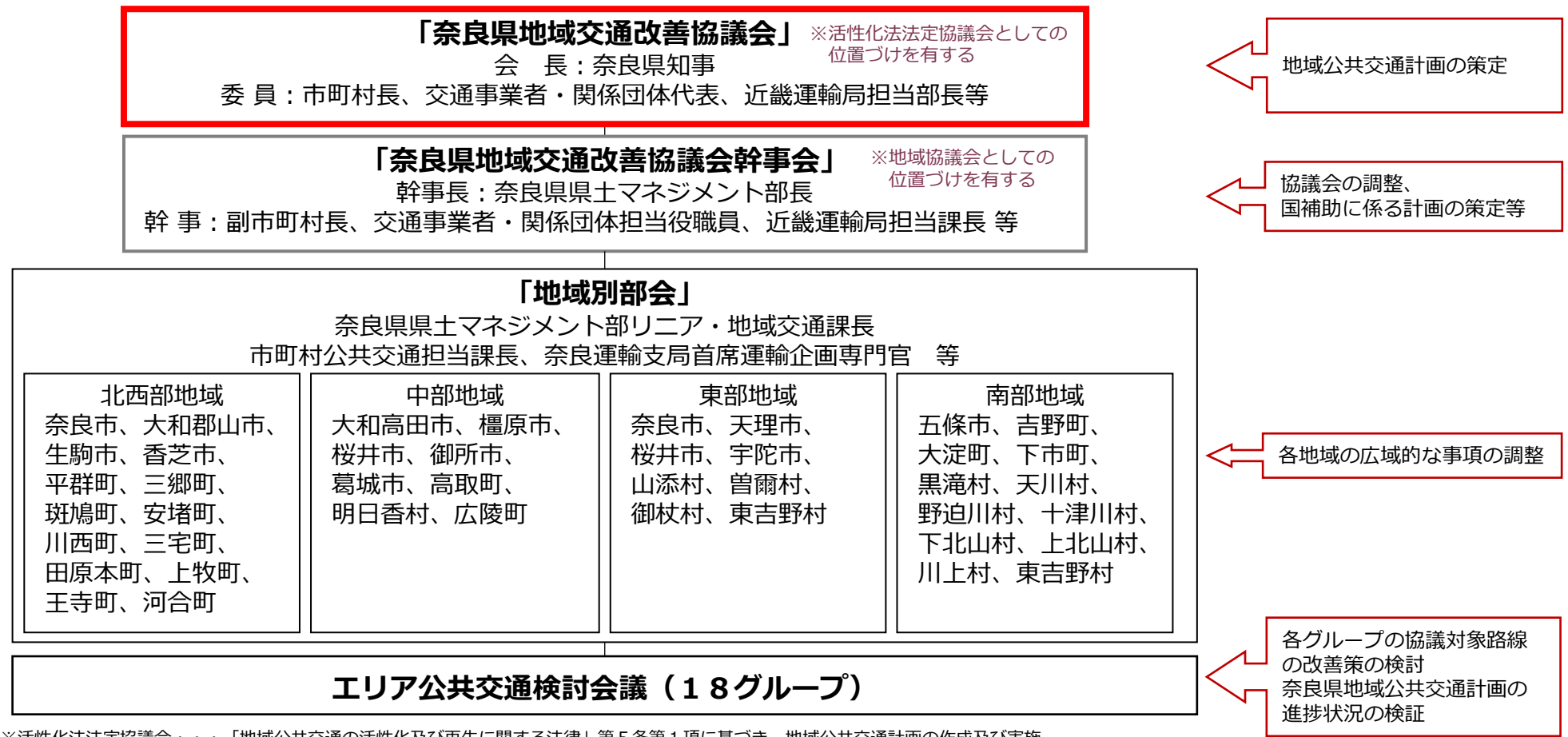
最近の地域交通の全体像（最近の傾向のイメージ）



奈良県地域交通改善協議会

- 奈良県では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく協議会として「奈良県地域交通改善協議会」を組織。

- 【役割】 ①協議対象路線の毎年度の運行実績に基づく診断の実施及び診断結果等を踏まえた運行改善策の検討
②国及び県補助の対象系統（各補助に係る計画）についての合意
③「奈良県地域公共交通計画」の策定・変更に係る協議
④その他公共交通施策に関する案件の調整及び意思決定

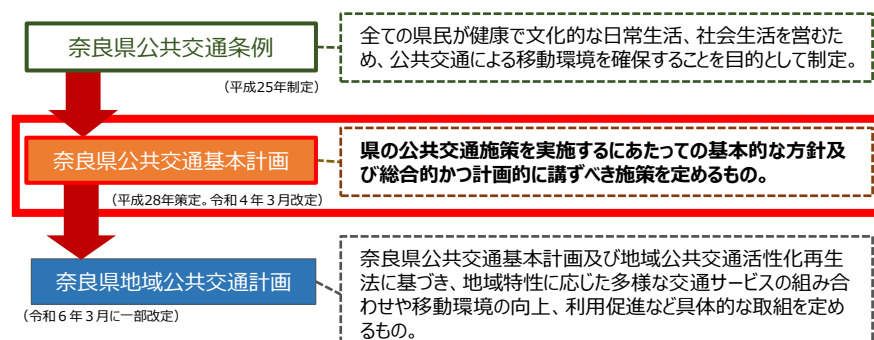


※活性化法法定協議会・・・「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条第1項に基づき、地域公共交通計画の作成及び実施
に関し必要な協議を行うための協議会
※地域協議会・・・「道路運送法施行規則」第15条の4第1項第2号に基づく、地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保に関する協議会

奈良県公共交通基本計画

奈良県公共交通基本計画について

- ・奈良県公共交通条例に基づき、まちづくり、医療・福祉、観光、産業その他の施策との連携を図りながら、公共交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成28年3月に策定。
- ・策定後の状況変化に対応するとともに、取組の成果及び課題を踏まえて施策をさらに強化するため、令和4年3月に改定。
- ・本計画に基づく具体的な取組を定める「奈良県地域公共交通網形成計画」についても、本計画の改定及び国における制度改正を踏まえ、「奈良県地域公共交通計画」として令和5年3月に改定。



基本理念

- 地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創るため、県民・来訪者の移動ニーズを支える県内公共交通とその拠点を実現する
- 地域がより主体的に公共交通を維持・充実する取組に参画する
- 持続可能な社会・地域づくりに貢献する公共交通を構築する

対象とする公共交通の範囲は、鉄道、路線バス、タクシーに加え、市町村等が主に事業主体となるコミュニティバス・デマンドバス、自家用有償旅客運送や住民同士の助け合いによる運送のほか、施設バスやシェアサイクル等、幅広く捉えることとする。

総合的かつ計画的に推進する施策

本計画の基本理念を実現するため、下記の4つの施策を推進する。

推進施策1 県内公共交通の維持・充実に向けた取組

- (1) 地域がより主体的に公共交通の維持・充実を図る取組の強化
- (2) 地域の輸送資源や多様な輸送モードの活用



対象区域、実施主体や役割分担を明示する「公共交通とまちづくりのデッサン」



貨客混載の取組（近畿日本鉄道提供）

推進施策2 公共交通に関わる空間の質向上

- (1) 地域の拠点としての駅・バス停等の質の向上
- (2) 誰もが使いやすい利用環境の整備



商業施設と連携したサイクル&バスライド（奈良交通提供）



バス情報提供設備（奈良交通提供）

推進施策3 多様な関係者による連携・協働

- (1) 「奈良モデル」に基づく、市町村・交通事業者・県民等との連携・協働
- (2) 公共交通を担う人材の確保・育成



地域の関係者による協議



奈良県庁屋上ギャラリー

推進施策4 時代の変革に対応した公共交通の構築

- (1) デジタル技術の活用による移動手段の確保や利便性向上
- (2) 脱炭素社会の実現に向けた取組の推



AIデマンド交通の実証運行



環境に優しい車両の導入支援

奈良県公共交通基本計画に基づく取組

取組事例

推進施策1 県内公共交通の維持・充実に向けた取組

取組例① 「公共交通とまちづくり等の検討プロセス」の強化

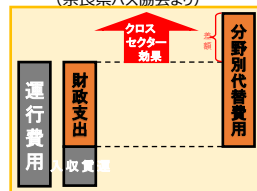
- ・利用者数、収支率等の客観指標に基づき、地域の関係者で改善策を検討・実施。
- *診断指標を満たす対象広域バス路線：60%
- ・地域が主体的に参画し、多様な輸送資源を活用する取組に対し、県が補助。



R169ゆうゆうバス沿線魅力発見
マップ
(奈良県バス協会より)

取組例② 地域公共交通の多面的評価方法の導入

- ・公共交通があることで、まちづくりや医療等他の施策分野で生じている価値（クロスセクター効果）の活用を推進。
- ・奈良県版クロスセクター効果簡易算出ツールを作成。



クロスセクター効果のイメージ

推進施策3 多様な関係者による連携・協働

取組例① 関係者間の連携による検討体制の強化

- ・多様な地域の輸送資源を総合的に捉えて議論する「エリア公共交通検討会議」を継続実施。
- ・同会議を、県内18エリアで実施し、路線の抜本的な見直し等一定期間を要する特に重要な取組である「重点取組事項」についても一部エリアで設定。



エリア公共交通検討
会議

取組例② 行政職員等の育成及び情報発信

- ・市町村の公共交通担当者を対象として、関係法令や、国・県の支援制度、取組内容等についての研修会を実施。
- ・テーマを設定し、そのテーマに沿ったセミナーや市町村担当者からの事例紹介を実施。



人材育成研修会

推進施策2 公共交通に関わる空間の質向上

取組例① 駅・バス車両等のバリアフリー化の一層の推進

- ・鉄道駅へのエレベーター設置工事等や、ノンステップバス車両の導入に対する補助を実施。

*対象駅の段差解消率82.8%
(平成28年度:73.4%)



ノンステップバス (奈良交通提供)

取組例② 公共交通の利用環境の整備

- ・バス停の上屋整備や、自転車との乗継拠点整備を支援。
- ・地域の拠点施設における、多言語対応のバス情報案内設備設置を支援。



白毫寺バス停上屋整備

推進施策4 時代の変革に対応した公共交通の構築

取組例① デジタル技術による公共交通サービスの維持・充実

- ・公共交通の利便性の向上や運転手不足への対応等を目指し、AIデマンド交通や自動運転バスなど、県内におけるデジタル技術を活用した新しい公共交通サービスの実装に向けた取組を実施。
- ・三郷町、明日香村で公道における自動運転バスの実証実験を実施。



自動運転バス車両

取組例② 公共交通分野における環境負荷の低減

- ・脱炭素社会に向けた取組の一環として、県内バス路線における初のEVバス導入を支援。



EVバス車両

【最近の取組】マイカー公共交通（公共ライドシェア）の導入

- 「交通空白」の解消に向けて、国において新たな交通手段確保のための制度整備が推進。
- 奈良県においても、県下初となる「公共ライドシェア」の導入に向けて今年度から取組を開始。

<国で整備された制度>

※下図は国土交通省資料より引用

日本版ライドシェア

タクシー事業者の管理下で自家用車・一般ドライバーを活用したライドシェア！
タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定して不足分を供給！



公共ライドシェア

市町村やNPO法人が自家用車で提供する有償の旅客運送！
交通空白地で運送するものと福祉のために運送するものの2つがある！

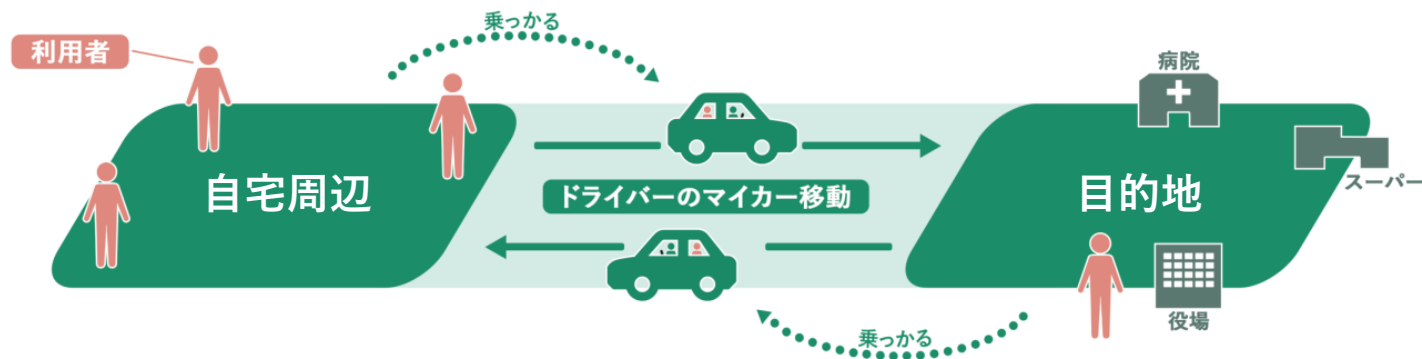
<交通空白地>



<福祉>



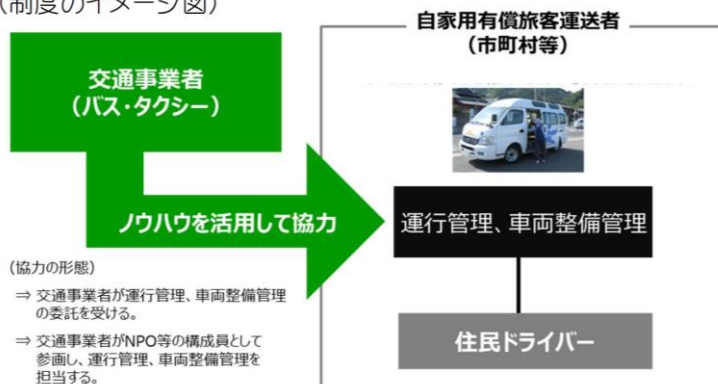
奈良県で実証することを検討中の公共ライドシェア
(住民ドライバーがマイカーで利用者を送迎する助け合い公共交通サービス)



▼想定している運用のイメージ（案）

- ・ドライバーは法定講習を受けた地域住民、車両は住民のマイカーを使って運行
- ・利用者は事前に電話またはLINEでの乗車予約
- ・運賃・停留所・予約期限等のサービス詳細は地域住民等と協議

(制度のイメージ図)



● 法律に基づいた安全なサービス

道路運送法第78条第2号（自家用有償旅客運送）に基づき、法律の範囲内で運用。
ドライバーに対する安全講習や、万が一に備えた保険整備もサポート。

● ドライバーに過度な負担がかからない運行形態

ドライバーは事前に運行可能な日時を登録。
予約が入ったときのみ運行する、事前予約方式。

● 新しいものを入れるのではなく、普段使っているものを活用

専用車両の用意は必要なし。ドライバーは普通のマイカーで運行可能。
利用者は、LINEか電話から予約。専用アプリは不要。

● デジタルに慣れていない方でも使いやすい設計

LINEでの予約は、出てくる質問に対してボタンを押していくだけで完了。
運行管理システムも、マウスで選択していくだけで操作可能。

【最近の取組】 鉄道沿線としての取組 ～ならSLOW & Loop～

たろ Slow&Loop Trip
とは

奈良の主要地を1周する形でつながる

万葉まほろば線、和歌山線、大和路線。

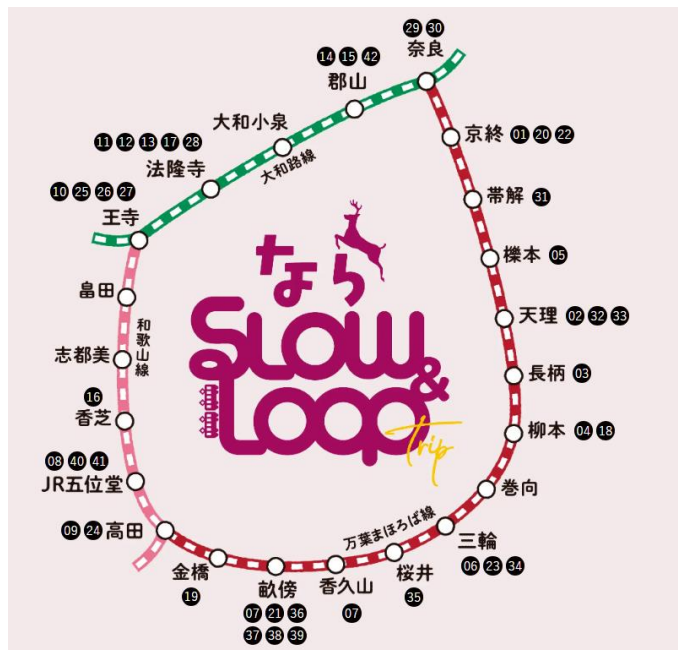
じっくりと時間をかけて巡ることで、悠久の時間が育んだ、

奥深い古都・奈良の魅力を味わうことができます。

観て、歩いて、食べて、遊んで・・・。

”ゆるっと(SLOW)、ぐるっと(LOOP)めぐる“、

奈良の旅をお楽しみください。



出典) 奈良県HPより

京終駅

01 奈良町にぎわいの家(登録有形文化財)

1917(大正6)年に古美術商によって建てられた町家(蔵は江戸期)で、茶室や15畳もある広い座敷、金箔の貼られた仏間など空間構成や意匠は見応えがあります。二十四節気をテーマに生活文化を発信しています。

- 京終駅下車 徒歩10分。
- 奈良市中新区町5
- 9:00~17:00 水曜休館(その他休館もあり)
- 入場無料



WEB サイト

天理駅

02 天理参考館

世界各地の生活文化と考古美術の博物館です。1930(昭和5)年に創設され、収蔵は約30万点にも及びます。それらの中から約3,000点が常時展示されています。

- 天理駅下車、徒歩約20分。
- 天理市守日堂町250
- 9:30～16:30(入館は16:00まで)
- 火曜休館(その他も休館日あり)
- 大人500円、小・中・高生300円



WEB サイト

長柄駅

03 大和神社

祭神の日本大匠魂大神は大和一国の地主神です。毎年4月1日に行われる「ちゃんちゃん祭」は、大和に春を呼ぶ祭りとして、また「戦艦大和」が守護神として、御分霊を記っていたことでも知られています。

○長柄駅下車、徒歩約7分。
○天理市新景町306



WEB サイト

柳本駅

04 黑塚古墳展示館

三角縁神獸鏡33面をはじめ、多数の考古遺物が出土した史跡・黒塚古墳に隣接する展示館です。実物大の竪穴式石室をはじめ、レプリカを展示しています。

○柳本駅下車、徒歩約5分。○天理市柳本町1117-1
○9:00～17:00 月曜・祝日・年末年始休み
○入館料無料



WEB サイト

【参考】奈良県の公共交通に関する支援制度

※金額はいずれも令和6年度予算額

- 奈良県では、市町村や交通事業者向けの様々な支援制度がある。例えば、市町村が新たな交通確保策の検討や実証等を行う場合は「公共交通基本計画推進支援事業」の活用が可能。

※これらの事業以外にも、市町村の意向も踏まえて、県がとりまとめる形で様々な実証等（公共ライドシェア、自動運転）を行っている。

奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業（対象：交通事業者、市町村、協議会等）

- ① 交通事業者が運行する幹線系統の運行費を支援
- ② 市町村連携により幹線系統の運行を確保する取組に要する経費を支援
- ③ 市町村等が新たに運行を開始するフィーダー系統の運行費を支援

227,946千円

公共交通基本計画推進支援事業（対象：市町村、協議会）

63,000千円

地域における公共交通の効率的な運行に向けた調査検討や実証運行、利用環境整備を支援

外国人観光客受入環境整備促進事業（対象：タクシー事業者等）

7,900千円

外国人観光客等の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、交通事業者等による受入環境整備を支援

連携協定に基づくバス交通支援事業（対象：奈良交通株式会社）

63,200千円

奈良県と奈良交通（株）との連携協定に基づき、県内のバス利用環境の向上を目的に、電気バスの導入やバス停高機能化等に要する経費を支援

鉄道駅バリアフリー整備事業（対象：鉄道事業者）

12,500千円

鉄道駅における段差の解消、内方線付点状ブロックの設置等のバリアフリー整備に要する経費等を支援

【参考】公共交通基本計画推進支援事業の活用事例

①調査検討

実施年度	実施団体	検討内容
令和３年度	大和高田市地域公共交通活性化協議会	- アンケート調査による地域住民等移動のニーズの把握 - 大和高田市地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討
	葛城市地域公共交通活性化協議会	- 住民アンケート調査による移動実態や公共交通の問題点等の分析 - 利用者アンケート調査による利用者実態等の分析
令和４年度	大淀町	- 住民アンケート調査による町民の要望及びニーズの把握 - 大淀町地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討
	上北山村	- 住民アンケート調査による移動実態の把握と活動機会の分析 - コミュニティバスの再編計画の検討
令和５年度	天理市地域公共交通活性化協議会	- 天理市地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討 - 市民及び来訪者に対するアンケート調査を実施・分析
	葛城市地域公共交通活性化協議会	- 予約型乗合タクシー実証運行計画の策定に向けた調査・検討 - 運行ダイヤやミーティングポイントの設置場所について検討

②実証運行

実施年度	実施団体	事業内容
令和３年度	五條市	牧野、北宇智、二見の３コースでのミーティングポイント型デマンド交通の実証運行
	宇陀市	大宇陀南部地域における有償ボランティアによるコミュニティバスの実証運行
令和４年度	生駒市	鹿ノ台地区におけるコミュニティバスの実証運行
	明日香村	飛鳥キトラ線の見直し及び村内の交通サービスレベルが低い地域へのデマンド交通導入
令和５年度	山添村	山添村役場～奈良市内の駅および商業施設を結ぶ村民送迎バスの実証運行
	橿原市	真菅地区におけるタクシー車両を利用した乗合交通の実証運行

③利用環境整備

実施年度	実施団体	事業内容
令和３年度	明日香村	路線バス停留所への上屋整備
	上牧町	路線バス停留所へのベンチ設置
	広陵町	コミュニティバスの路線変更に伴うバス停の整備
令和４年度	香芝市	コミュニティバス停留所における標柱改修、縁石切り下げ、視線誘導鋸設置及び路面標示設置工事
	川上村	川上村デマンド乗合タクシー「ニコニコ号」の新規車両購入
令和５年度	広陵町	- 一部のコミュニティバス路線を予約型乗合バスに移行することに伴う乗降場所サインの整備 - バスの予約や決済機能を有する広陵町版MaaSの構築
	大淀町	停留所看板を視認性の高いレイアウトに変更
		特別乗車券の増刷と、町公共交通ガイドブックの作成